

## R2 香大医学部看護学生の訪問ボランティアの取り組み

R2.3.8 運⑥

### 1 目的

- ・ ALS 患者とのコミュニケーション、介護補助等を通して患者の生活の質を高める。
- ・ ALS 患者・家族の実生活に接することで、学生の ALS に対する理解と資質を高める。
- ・ ボランティア活動の在り方を探る機会として実施する。

### 2 本年度の計画

#### (1) 訪問ボランティアの運営（香大の体制は前年度と同様）

- ・ 学生ボランティアは 2・3 年生が中心（ 人）
- ・ 訪問は県内どこでも可（自家用車で移動）
- ・ 対象患者の症状の程度は問わない。
- ・ ボランティア内容は患者・家族と相談し検討する。
- ・ 介護等は、家族や訪問看護師の補助的ポジショニングは可（学生だけでは不可）
- ・ 訪問日、訪問回数等は相談し検討する。（試験、実習等があるため）
- ・ 学生の活動の保障はボランティア保険が対応する。

#### (2) 運営委員会（3/8）で提案

- ・ 4 月上旬までにボランティア受け入れ患者・家族（2～3 人）を決定する。
- ・ 受け入れ患者・家族に希望内容、日時、写真撮影の可否等を確認する。
- ・ 在宅は 1 時間程度、外出の場合は～3 時間程度を目途とする。
- ・ 確認後、氏名、住所、連絡先、日時・内容等を香大（清水・上原先生）に連絡する。
- ・ 以後は、希望患者・家族と大学側が直接連絡をとりボランティアの計画を立てる。

### 3 今後の取り組みと課題

- ・ 4 月中に担当教員、担当学生と支部長等で取り組みの共通理解を図りたいがどうか？
- ・ 事前に車椅子の操作練習、文字盤練習、手足のストレッチ研修等をお願いできるか？
- ・ 5 月の運営委員会後に運営委員と学生との懇談会を設定しようと思うがどうか？
- ・ 6 月の支部総会後に文字盤研修会を行うので、学生の研修の場としてほしい。
- ・ 支部だより（前期 8 月末、後期 2 月末）に学生の感想を載せたいがどうか？
- ・ 上原先生の研究との連携の在り方について教えてほしい。